

まちの話題お届けします



● 小規模保育園こどもの森 木のぬくもりたっぷりの園舎が完成



新築された小規模保育園こどもの森の園舎

2月19日、旧三河内幼稚園の敷地内に新築された0～2歳児を保育する「小規模保育園こどもの森」の竣工式が行われました。

同園を運営する特定非営利活動法人こどもの森保

育園は、昭和61年に三河内地区内で民家を借りて開園。その後、園児の増加に伴い明石地区に移転し長年運営をしてきましたが、さらなる子育てと保育環境の充実を図るため、令和2年に旧三河内幼稚園の建物を購入。今般、敷地内に新たに「小規模保育園こどもの森」を整備し、町内初となる0～2歳児を保育する小規模認可保育園として3月1日から運営開始となりました。

整備された園舎は、アレルギーがある子どもでも安心して預けられるよう無垢材を使用。園舎全体は、木のぬくもりを感じられる空間となっています。吉岡知加子理事長は「この度、三河内地区に帰ることができるので、戸外活動に力を入れていきたい」とあいさつ。その後、園児たちによるお礼の歌の披露があり、新園舎の完成を祝いました。

● 地域経済構造分析調査報告 持続可能な与謝野町経済の実現に向けて

3月19日、商工会本所において「与謝野町まちづくりシンポジウム - 地域経済構造分析調査を受けて -」が開催されました。

本調査は、国内外や京都府内の外部経済環境分析、本町に関する統計の収集と検討に加え、昨年10月から町内世帯や就業者への消費動向調査、地元事業者へのヒアリング調査を実施し、本町の経済を総合的に分析。分析結果を報告した京都橋大学の小山大介准教授は「与謝野町における年金経済は年間100億円と推計され、この年金経済を域内消費、そして地域内経済循環にいかにつなげるかが課題」と指摘し、分析に基づく6つの政策提言をされました。

その後、町内事業者などによるパネルディスカッションが行われ「この町には多くの宝がある。まず



分析結果を報告する小山准教授

は、足元にある宝を知ることが大切」「企業は町をつくる根幹であり、経営者にも責任がある。この分析調査をどう生かすか企業にかかっている」などの意見がありました。

なお、シンポジウムの様子は、町公式YouTubeチャンネル(右記QRコード)からご覧いただけます。



398人の旅立ち ～小中学校卒業証書授与式～

3月15日は3つの中学校で、23日は6つの小学校で卒業証書授与式が行われ、398人の児童・生徒が学び舎を旅立ちました。

山田小学校では15人の児童が卒業。後藤美桂校長から卒業証書を手渡されたのち、6年間通った学び舎での思い出や育ててくれた保護者へ感謝のメッセージを送り、中学生への1歩を踏み出しました。

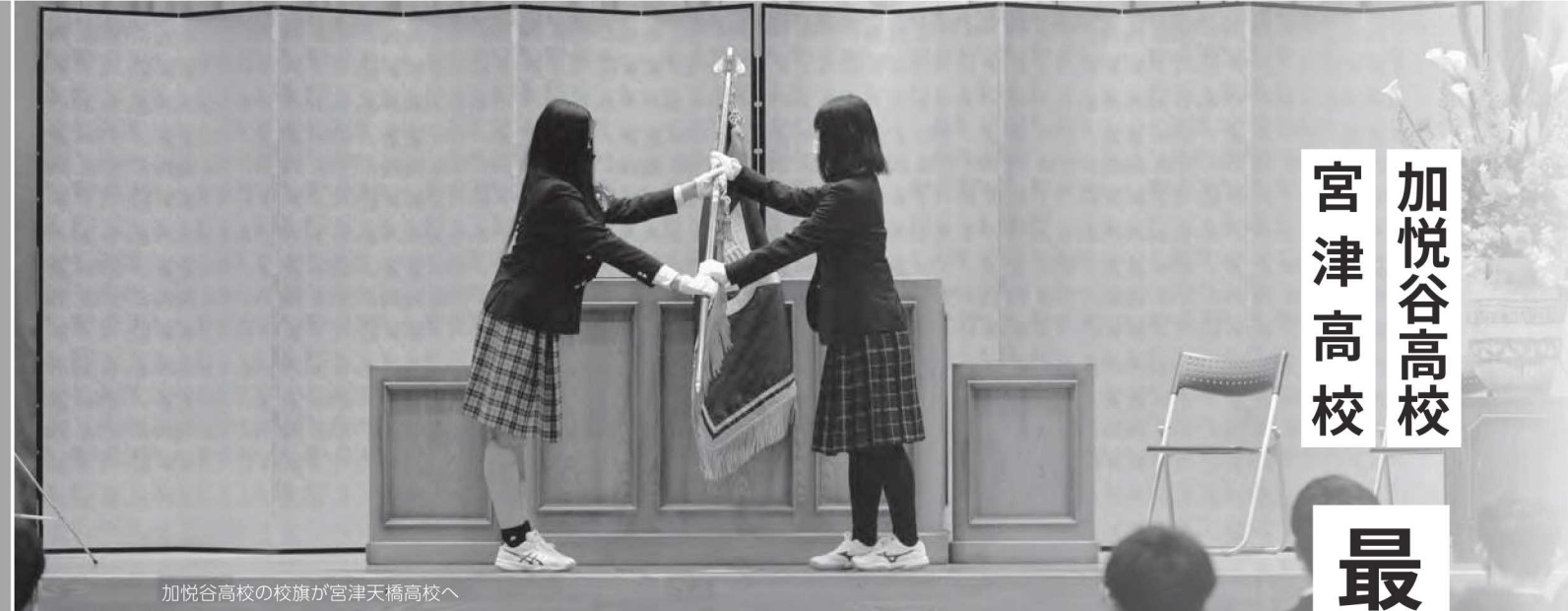


山田小学校の卒業証書授与式

加悦谷高校 宮津高校

最後の卒業式

宮津天橋高校へ受け継がれる歴史と伝統



加悦谷高校の校旗が宮津天橋高校へ

校名が変わっても、私たちは母校として応援しています。

3月1日、加悦谷高校および宮津高校において、最後となる卒業証書授与式および宮津天橋高校への継承式が開催され、両校は74年の歴史に幕を下ろしました。

卒業式の後に行われた加悦谷高校の歴史と伝統を引き継ぐ継承式では、卒業生代表の安田萌乃佳さんは「校名がなくなることに寂しさを感じざるを得ませんが、最後の卒業生であることに誇りを感じています」とメッセージを送りました。また、在校生代表の宮津天橋高校加悦谷学舎2年の松本七星さんは「私たち1・2期生が思いを紡ぐ織りなす人となり、青春をかけ新しい歴史を刻んでいきます」と継承への決意を述べました。

両校は、府立高校の再編により統合。府内初となる学舎制を導入し、令和2年4月から宮津天橋高校として開校しました。令和3年度までは、2つの学校の生徒が同じ校舎で学んでいましたが、令和4年度からは、すべての生徒が宮津天橋高校の生徒となります。



宮津高校から宮津天橋高校への継承式



宮津高校の卒業証書授与式



加悦谷高校の卒業証書授与式

宮津 高校

明治36年(1903)、京都府4番目の旧制中学校「府立第四中学校」として創立。その後、改名および統合がなされ、昭和23年10月に府立宮津高等学校が発足。創立から起算すると、118年の歴史に幕を下ろすことになり、これまで3万5,000人を超える卒業生を輩出してきました。

「社会的使命感と青雲の志を持つ人」の育成を理念とし、卒業生が国内外を問わずさまざまな分野で活躍されている中、ロンドンオリンピック女子マラソン日本代表で与謝野町名誉町民の木崎良子さん、プロ野球阪神タイガースの糸井嘉男選手などが卒業生。

加悦谷 高校

昭和23年9月に府立加悦谷高等学校として創立し、定時制過程農業科および家庭科(昼間・夜間)を設置。その後、全日制課程(普通科)を設置し、これまで1万3,167人の卒業生を輩出してきました。

ハイレベルな文武両道の教育を推進し、オリンピック選手や全国チャンピオンを輩出したウェイトリフティング部、シューベルト国際合唱コンクールで4度の総合1位を獲得した合唱部など、国内外で輝かしい成績を残してきました。また、平成30年度からは府内初の魅力化コーディネーターを配置し、地域に根差した魅力ある高校づくりを実践中。